

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
イノベーション・マネジメント論	2	前期	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(かんせん、きだ) 甘泉、木田	授業支援システム(ユニブルーブ)を活用します。			

(英文科目名 Innovation Management)

授業の概要

企業が成長・発展していく上で最も重要とされるのが「イノベーション」であり、そのイノベーションを担う人材は、高度な専門知識とマネジメント能力が求められます。また、製造業、サービス業といった区分に関係なく、「イノベーション」において基本的な考え方は共通している点が多いと言えます。そこで、本講義では、経営学で示されている様々なイノベーションについて体系的に示し、実際に起こった具体的な事例と結びつけながら、個別理論の解説を行っていきます。イノベーションの理論と現象の両面から理解し、ビジネスにおけるイノベーションの重要性と困難性について、理解を深めます。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、サービス・マネジメントコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。

「イノベーション・マネジメント論」は、サービス・マネジメントコースのコア科目です。したがって、サービス・マネジメントコースを希望する学生は必ず履修してください。「イノベーション・マネジメント論」の展開科目として、「サービス創造論」「イノベーション・プロセス論」(両科目とも後期開講科目)があります。すなわち、「イノベーション・マネジメント論」を履修した上で「サービス創造論」「イノベーション・プロセス論」を履修することが望ましいです。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1)知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	◎	イノベーション・マネジメント論における基本的な知識を修得し、様々なイノベーション理論の内容とそれぞれの特徴について説明できる。
(2)汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	○	組織のマネジャーの立場で、イノベーションの重要性を認識し、組織的にイノベーションを起こす仕組みづくりとそれを管理する手法を学び、様々な事例を通してそれらの有効性を確認し応用できる。
(3)態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	○	「イノベーション」とは何かを論理的かつ体系的に学び、企業がいかんにして組織的にイノベーションを生み出し、イノベーションを管理していくかという、企業経営において普遍的な事象への考察を行うことができる。
(4)総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。		

授業の方法・講義手法の概要

講義

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修／事後学修
1	イントロダクション(授業の進め方・成績評価方法について)	事前学修:シラバスを読む+「イノベーション」について関連情報を調べ、まとめておく(90分) 事後学修:「イノベーション・マネジメントとは」に関する課題プリントを解く(90分)
2	イノベーションとは	事前学修:「イノベーションとは何か」について関連情報を調べ、まとめておく(90分) 事後学修:「イノベーションとは」に関する課題プリントを解く(90分)
3	ドラッカーのイノベーション(7つの機会)	事前学修:「ドラッカーのイノベーション(7つの機会)」について関連情報を調べ、まとめておく(90分) 事後学修:「ドラッカーのイノベーション(7つの機会)」に関する課題プリントを解く(90分)
4	ドラッカーのイノベーション(イノベーションの誤解)	事前学修:「ドラッカーのイノベーション(イノベーションの誤解)」について関連情報を調べ、まとめておく(90分) 事後学修:「ドラッカーのイノベーション(イノベーションの誤解)」に関する課題プリントを解く(90分)
5	ドラッカーのイノベーション(イノベーションのための5つの基本手順)	事前学修:「ドラッカーのイノベーション(イノベーションのための5つの基本手順)」について関連情報を調べ、まとめておく(90分) 事後学修:「ドラッカーのイノベーション(イノベーションのための5つの基本手順)」に関する課題プリントを解く(90分)
6	クリステンセンのイノベーション(持続的／破壊的イノベーション)	事前学修:「クリステンセンのイノベーション(持続的／破壊的イノベーション)」について関連情報を調べ、まとめておく(90分) 事後学修:「クリステンセンのイノベーション(持続的／破壊的イノベーション)」に関する課題プリントを解く(90分)
7	クリステンセンのイノベーション(イノベーションのジレンマ)	事前学修:「クリステンセンのイノベーション(イノベーションのジレンマ)」について関連情報を調べ、まとめておく(90分) 事後学修:「クリステンセンのイノベーション(イノベーションのジレンマ)」に関する課題プリントを解く(90分)

8	前半の振り返りと確認	事前学修:これまでの講義レジュメの内容をまとめておく(90分) 事後学修:これまでの課題プリントの内容をまとめておく(90分)
9	パラダイムシフト	事前学修:「パラダイムシフト」について関連情報を調べ、まとめておく(90分) 事後学修:「パラダイムシフト」に関する課題プリントを解く(90分)
10	アーキテクチャー(モジュール化)	事前学修:「アーキテクチャー(モジュール化)」について関連情報を調べ、まとめておく((90分) 事後学修:「アーキテクチャー(モジュール化)」に関する課題プリントを解く(90分)
11	アーキテクチャー(モジュラー型/インテグラル型)	事前学修:「アーキテクチャー(モジュラー型/インテグラル型)」を調べ、まとめておく(90分) 事後学修:「アーキテクチャー(モジュラー型/インテグラル型)」に関する課題プリントを解く(90分)
12	オープン・イノベーション	事前学修:「オープン・イノベーション」について関連情報を調べ、まとめておく(90分) 事後学修:「オープン・イノベーション」に関する課題プリントを解く(90分)
13	経営管理イノベーション	事前学修:「経営管理イノベーション」について関連情報を調べ、まとめておく(90分) 事後学修:「経営管理イノベーション」に関する課題プリントを解く(90分)
14	リバース・イノベーション	事前学修:「リバース・イノベーション」について関連情報を調べ、まとめておく(90分) 事後学修:「リバース・イノベーション」に関する課題プリントを解く(90分)
15	全体のまとめ	事前学修:これまでの講義レジュメの内容をまとめておく(90分) 事後学修:総まとめの課題プリントを解く(90分)

成績評価の方法・基準

課題プリント(15%)試験(85%)に加えて、毎授業で課すコメント票と授業への参画度等も加味し、総合的に評価します。

指定教科書

指定教科書はありません。

参考教材:カデナクリエイト著(2015)『図解&事例で学ぶイノベーションの教科書』マイナビ出版

参考文献等

適宜配付します。

履修上の留意点

事前学修に記載の通り、各回の内容を事前に調べ、まとめていることを前提とし、講義を行います。また、課題プリントを各回に課します。詳しくは、初回授業時に説明します。

実務経験